



発行 真宗大谷派 高山教務所
発行者 出雲路 善公
〒506-0857 高山市鉄砲町6番地
☎(0577)32-0776
*毎月20日発行 50,000部
三市一郡無料配布
印刷 山都印刷株式会社

念じられ 照らされて

仏法という鏡

江馬 雅人



〔略歴〕
一九四七年岐阜県下呂市生まれ。
高山教区益田組賢誓寺住職。
真宗本願教化指導。高山教区教
化委員。下呂保護区保護司。

京都・東本願寺前の道
端にある行灯に、
人間の眼は外をみる
仏さまの眼は内をみる
ということが揭示され
ていました。

私たちは、なんでも見
ることが出来るすばらし
い眼をもっています。眼
を開ければ、前にあるも
のが見え、首や体を回せ
ば横や後ろ、上や下と周
りにあるものすべてを見
ることが出来ます。眼は
外に向かつてついている
ので、外のことはよくわ
かります。
ただし、いつも自分は
正しく、まちがいないと
いう自己中心的な心でい
ますので、自分以外の人
たちの行いを見ては、あ
れが悪い、これが悪い、
あの人のせいだと言って

非難することばかりです。
どんなにすばらしい眼
であっても、自分では
見えないものがありま
す。それは、自分の内側
の「ありのままの姿」で
す。これは、どんなこと
をしても見ることはでき
ません。というよりも、見
ようとも思わず、また見
たくもないのかもしれま
せん。
私たちが日頃親しんで
いる正信偈の中に、親鸞
聖人が慕っておられる七
人の先生(龍樹・天親・
曇鸞・道綽・善導・源
信・源空)の中の五人目
の善導さまは、
経教はこれを諭(なぐさ)む
に鏡のごとし(「観経疏」
)お経は教えであり、大事
な鏡のようなものです
と書かれています。

鏡といえば、朝、顔を
洗うと必ず見ます。また、
朝だけではなく、一日の
うちには何回も鏡をのぞ
きます。それは、私自身
を見るためにのぞくので
あって、他人を見るため
に鏡をのぞくのではあり
ません。
善導さまは、「仏さま
の教えに耳をかたむける
『仏法聴聞』によって、
常に外にしか向いていな
かった私の眼が、それも
自然に内向きとなって本
当の自分自身の姿、あり
のままの自分を見る眼と
なつてはたらくのですよ。
それは、私を育てる鏡で
す」と言われるのです。
親鸞さまは、教えの鏡
によって写し出された、
ご自身の姿をどのように
ご覧になったのでしょうか。
八十才を過ぎられた

ころに、
浄土真宗に帰すれども
真実の心はありがたし
虚仮不実のわが身に
清浄の心もさらになし
(「正像末和讃」)
と、ご自身の心もちをう
たわれています。
親鸞さまは源空(法然)
さまに出会い、念仏の生
活をしておられました。
しかし、年齢を重ねても、
他人さまを見れば、うら
やみ、ねたみ、傷つけ誠
意のない嘘いつわりの心
でしかなく、ましてや、
清らかで正しく美しいと
いうような心など、さら
さらもちあわせていない、
と言われるのです。
このことは、私たち人
間のいつわらざる真実の
姿、ありのままの姿を厳
しく見据えておられるの
ではないでしょうか。
さて、私自身はと言え
ば、自分にとって都合の
良いことを求め、都合の
悪いことを排除すること
で生きています。それが
私の日常であり、私の根
性です。
仏法にあうということ
は、自分勝手なひどい心
で生きていたなあ、えら
い根性で生きていたなあ
と、目が覚めるというこ
とです。つまり、自分の
愚かさを知り、事実を事
実として見つめて生きる
ということなのでしょう。

あけましておめでとうござ
います。
昨年中は大変お世話になり
ました。五月宗祖親鸞聖人
七五〇回御遠忌法要が厳修で
きましたのも、多くの方々の
お取り持ちとご参拝のお陰で
あります。また、連日晴天に
恵まれ稚児行列も無事できま
した。街で会う多くの方々か
ら「よかったですなあ」「ご苦
労さまでした」と異口同音に
挨拶され、有難く恐縮してお
ります。
十一月のご坊さまの報恩講
が勤められてから、三つの大

新春の ご挨拶

高山別院輪番
三島多聞



きな動きがありました。一つ
目は、災害時の避難所を別院
にするということ高山市と
提携しました。二つ目は、ご
修復された別院本堂が景観が
よくできているということ
で、高山市景観デザイン賞で
優秀賞が授与されました。三
つ目は、下裏祐司氏より、山
門に大きな提灯が寄進されま
した。夜間暗い山門周辺が一
晩中点灯されて、防犯上、景観
上とてもよい効果が出ています。
今年の七月からは「飛騨御
坊真宗教化センター」が発足
し、ご坊別院を中心にした諸
事業が展開されます。皆さま
の「ご坊さま」として精進し
てまいりたいと思います。
今後ともよろしくご支援ご
協力をお願いして、年頭のご
挨拶いたします。

別院定例法座 午後1時から

1月28日 親鸞聖人ご命日法座 講師 三島 見らん氏(西念寺) 講題 「正しさの危うさ」	2月3日 三日のご坊 講師 内記 浄氏(往還寺) 講題 「ことばとなること …南無阿弥陀仏」
--	---

第38回真宗公開講座 受講料：1回700円

第2回 1月24日(金) 午後2時～4時 講師 市野 智行氏 (名古屋教区道誠寺・同朋大学専任講師) 講題 「リアルタイムで若者の耳に念仏」	第3回 2月26日(水) 午後2時～4時 講師 太田 浩史氏 (高岡教区大福寺・本山同朋会館教導) 講題 「門徒ものしらず? チョコちゃんに叱られないために」
--	--

聖教学習会のお知らせ

テーマ	『正信偈』に学ぶ
講師	藤元 雅文氏 (大谷大学講師)
日時	第1回 2月12日 (水) 第2回 3月12日 (木) いずれも午後1時30分～4時
会場	別院2階研修室
参加費	1回 500円
主催	高山教区寺族研修小委員会

☎テレホン法話(0577)(34)2313 ○1月21日～31日:椿末智丸氏「常光寺」 ○2月1日～10日:上清水信男氏「西蓮寺門徒」 ○2月11日～20日:北條秀樹氏「了泉寺」 宗教トラブル相談窓口(0577)3210763

家族で話そう

仏教×グリーンフケア ⑥

尾角 光美

学びの種から芽

昨年、茨城県で真宗大谷派と浄土真宗本願寺派の若手僧侶と坊守のみなさんが、合同で実行委員会をつくり、「グリーンフサポート連続講座」を一緒に開講しました。ご門徒さんたちや、普段はお寺に直接縁のないご遺族の方も共に学び合う場でした。「グリーンフケアの基礎」を学んで知ることからはじまり、「セルフケア」の学びを通じて、自分の生きてきた喪失に向き合い、自分を大切に知る力を養い、「聴くと対話」はロールプレイを通じていかに相手と大いに聴き、対話するかを学び、「お寺×グリーンフサポート」で実際に分かつ合いの場を経験します。最後は実際に学んだことをどう日常やお寺の現場に生かしているのか、具体的なアイデアの種から企画を練り上げるワークショップを通じて、学んでいきま

た頃こういふつどいに来ようと思おう」「四十九日忌に合わせお寺からお手紙を送るのがいいかな」といった具体的なお知らせの仕方についてまで、それぞれ自身の経験も交えながら準備をされている様子が伝わってきました。また、あるお坊さんは「葬儀や法事

改めてグリーンフケアに重ねながら伝えていきます。

仏教との重なり

つい最近のことですが、間接的に「グリーンフケアは仏教なのか」という問いをいただいたことがあり、この連載のタイトルである「仏教×グリーンフケア」の意味するところを考えることにもつながっていくため、読者のみなさんとの問いについて、連載全体を通じて考えていければと願っています。私が2007年から12年間、多くのお坊さん、お寺の方々と出会ってきた中で言われたのは「私たちの聞いてきた教えと重なることがある」ということでした。私のほうから「あなたの宗派の教えと重なりますよね」とお伝えしたことは一度もありません。でもどの宗派でも、グリーンフケアの大事な部分と、自分たちの教えと重なると思われる部分がありました。グリーンフケアは仏教であるとは思わないけれど「重なりがある」ということが大切なことなのだろうと思います。仏教と一言でいっても、ひとりひとり捉えている「仏教」は異なると思います。だからこそ、その重なりをひとりひとりに見出し、いってもらえるのなら、それは嬉しいことですし、私自身も仏教を学びながら、また、仏教を生きようとしていく中で考えていきたいと思えます。引き続き、本年もどうぞよろしく願っています。

次回は佐賀枝夏文さんの「人生の「こんなこと」「あんなこと」⑩」です。

婦人間法会

日時 2月12日(水) 午後1時から

講師 瓜生 崇氏

講題 「どうして葬式や法事をするのですか？」

会場 高山別院御坊会館

会費 200円

主催 高山二組坊守会

宗祖親鸞聖人誕生八百五十年 立教開宗八百年慶讃講演会

テーマ 「人と生まれて」

日時 第1回 2月14日(金) 第2回 3月13日(金) 午後1時30分から

講師 北條 頼宗氏

会場 (高田教区照行寺住職) 高山別院御坊会館

主催 高山一組真宗の会

協賛会 高山一組同朋会代表者

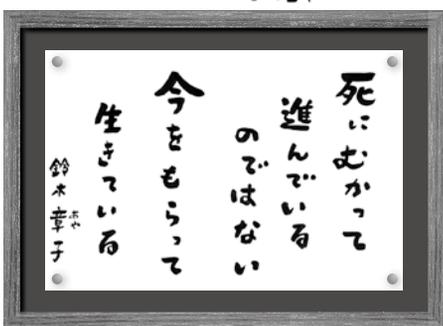
ご坊お朝事

日時 毎日 朝7時から7時40分頃 日替わり

講師 日替わり

会場 高山別院本堂

ご坊の掲示板



総合建設業 カ 奥原建設株式会社 高山市総和町三丁目九〇 TEL(0577)321076

こすぎACT 寺院仏具製作・修理 仏壇製造・洗濯修理 〒506-0011 岐阜県高山市本町3-60 TEL 0577-32-1745 FAX 0577-35-1630

大谷婦人会 2月11日(火) 午後1時から 定例法座 小原 正憲氏(専念寺) 新宮墓苑(墓地) 空あり1区画40万円

久寿玉 KUSUDAMA 飛驒の酒 飛驒の酒 玉

ブックス・アイオー (駿河屋アスモ店前) 仏教書は2階です TEL0577-33-3033

知 飛驒の酒 本醸造

スナック 卯本 うづぎ、

オンデマンド印刷 フルカラーの小数数の印刷に対応します

山都印刷株式会社 印刷物全般・自分史製作 高山市西之一色町三丁目九〇一八 TEL0577-33-1495

リフォーム 補修工事 クリーニング 墓じまい お墓の悩み、ご相談ください。 ご相談・お見積り無料! FAX33-9763 高山市新宮町 2498-1 新宮小学校前

株式会社 奥田石材 OKUDA TEL0577-33-9601

お仏壇 ほりお 仏壇工芸 高山市三福寺町369-7 TEL0577-33-6686

雨に濡れても大丈夫な提灯 祭礼・各種提灯展示販売の店 あかりの蔵 株式会社 高山提灯 提灯のことなら何でもご相談ください 所在:高山市本町4丁目33 電話:090-1629-8535